

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (思、判、表等) 整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (学びに向かう力等) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

## ICT活用のポイント

教師が用意した散らかった状態の引き出しを、グループで整理・整とんさせてICT端末で撮影し、活動の前後を比較させる。

大型電子提示装置に提示された、散らかっている引き出しの写真を見て、問題点を個人で考える。

集計機能を使って児童の考えを集約し、みんなが課題と感じる点を確認する。

グループで実際に整理・整とんし、ICT端末で撮影する。

整とん前と整とん後の写真を大型電子提示装置に映し、工夫した点を発表する。

## 事例の概要

- ・散らかっている引き出しの写真を大型電子提示装置に映し、本時のめあてを確認する。 ※児童のプライバシーに配慮し、散らかった引き出しは教師が意図的に用意
- ・児童のICT端末に散らかった引き出しの写真を送り、各自が問題点をチェックする。  
→ICT端末の集計機能を使い、みんなが課題と感じる場所を、全体で確認する。
- ・グループで、実際に散らかった引き出しを整理・整とんさせる。  
その際、ICT端末でビフォーアフターを撮影し、比較できるようにする。  
→見た目だけでなく、「快適」「安全」といった視点を持たせる。
- ・整理・整とんしながら気付いたことや考えたことをワークシートに書かせる。
- ・大型電子提示装置にビフォーアフターの写真を写し、各グループで工夫した点を発表させる。  
→発表を聞く児童は、よい点や気付いた点、アドバイス等をメモしながら聞く。
- ・発表を聞いて感じたことを数人に発表させる。
- ・自分の引き出しが整理・整とんされているか確認させ、学習を生かして整理・整とんできるようにする。

# 【小学校・5年・家庭科・整理・整とんで快適に】②

## 【事例におけるICT活用場面①】

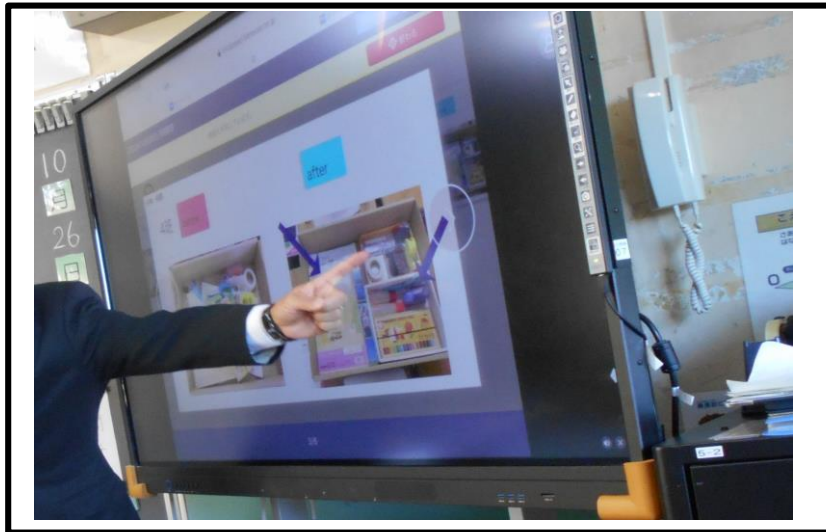


- 学習過程と事例におけるICT活用場面との関係
  - ・グループで実際に整理・整とんし、ビフォーアフターを撮影する。
  - ・大型電子提示装置により、各グループの工夫点を全体で共有する。

### ○ICTを効果的に活用するためのポイント

ビフォーアフターを比較する際に、漠然と写真を比べさせるのではなく、今回の授業であれば、「快適」「安全」といった視点を持たせることが大切である。

## 【事例におけるICT活用場面②】



### ○児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

大型電子提示装置による課題の確認や、ビフォーアフターの写真の提示等、整理・整とんの工夫が、視覚的に分かりやすい。

### ○活用したソフトや機能

- ・ICT端末のカメラ機能
- ・情報共有機能